

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



講演をしている桜子氏

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先日、NPO法人青少年ワールドサポート21様のチャリティーパーティーが催され、私共礎の石孤児院も招待され、参加させていただきました。今回、ザンビア孤児院の責任者である桜子さんも参加する事ができ、現地の活動を報告する桜子さんの言葉に多くの方が耳を傾けておられたようです。また、次回のパーティーにも御招待いただく等、多くの方が孤児院の働きに関心を持っていただいた事を本当に有難く思いました。

NPO法人青少年ワールドサポート21様には、今回、このような大変有意義なパーティーに御招きいただきました事、またパーティーでは大変御世話になりました事等、この場をおかりしまして心から感謝申し上げます。

さて各孤児院の状況はと言いますと、現在、運営費の増額が大きな課題となっており、カンボジア孤児院では新に子供を受け入れる為に、ザンビア孤児院では学校の運営の為に、とにかく今まで以上の経費が必要となっています。ただ、皆様の御支援により、多くの子供達の命が、未来が支えられている事は、本当に感謝しても感謝しきれない程です。どうぞこれからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしく願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。孤児院で20年ほど使ってきた電気炊飯器の調子が悪くなり、皆様のご支援によって新しいものを購入することが出来ました。本当に感謝しています。雨期は5月頃からと思いますが、暑さが戻ってきていますので、雨対策と暑さ対策が必要です。子ども達は、学校で数人がおたふく風邪や水痘瘡に感染したらしく、体調不良を訴えてますが、孤児院内では他の子ども達に今のところ、感染は広がってないようで胸を撫で下ろしています。現在はみんな回復して、元気に過ごすことが出来ています。姉と弟で受入れたLNとVDは来て2ヶ月ほどになり、孤児院の生活にも慣れて来たので、3月に入り幼稚園と小学校の入学準備を進めています。弟のVDは初めての学校ですし、お姉ちゃんのLNは少しだけ学校に行ったことがあるといいますが、これから学校に毎日行くのは初めてになります。しっかりと学びについて行けるようにと願っています。彼らの学びの為の皆様からの継続したご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いたします。



姉のLN(写真左)と弟のVD(右)、奥にいるのはスタッフのKNさん

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援とご協力を心から感謝致します。3月は女性月間でした。女性の皆さんがいつも家族を助け、元気づけておられることに感謝しています。母親も一人の人間ですから何事にも完璧と言う訳にはいきません。しかしそれで良いのです。私達はいつも就学支援生たちに、たとえ親から叱られたり、捨てられたり、拒絶されることがあっても、親への尊敬と愛を無くしてはいけないと教えています。今年9年生～12年生の生徒は、社会性を育てるためのソーシャライゼーションナイトに参加します。皆様のご支援を心から感謝致しております。また今年こそは各地域を回るための車を購入し、活動を枠を広げたいと願っています。今後ともフィリピンの子どもたちのために、皆様の暖かいご支援、ご協力をよろしくお願いたします。



皆様のご支援により購入した学用品を子どもたちに頂けました

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか?)この度は、干ばつ被害により来年度の開校が危うい | アフリカのスラムで生きる孤児のクラウドファンディングに温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆様からのご支援は、以下のように活用させていただきました。

- A. 子どもたちへの無料給食材料の調達費(1ヶ月分・児童生徒120名分)約24万円 → 子どもたちに温かい食事の提供が可能となりました。
- B. 学校備品の調達(教科書、筆記用具、制服、家具など)約118万円 → 学びに必要な環境が整い、子どもたちが安心して授業を受けられるようになります。
- C. 教員の労働環境向上のための資金(産休・育休手当積立金)約7万円 → 教職員が安心して働ける環境づくりを進め、教育の質の向上を目指します。

今回のプロジェクトでは「Just For Fun株式会社様」「宮里久美子様」「杉野敬子様」「松井法子様」他 合計98件の皆様からのご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。今後も、現地の子どもたちのための取り組みを続けてまいります。ザンビアのスラムに暮らす子どもたちにとって学びの場が整うことは、未来への第一歩です。引き続き温かいご支援をいただけますようお願い申し上げます。

干ばつ被害により来年度の開校が危うい | アフリカのスラムで生きる孤児



クラウドファンディングのプロジェクトページ

松本弘子さんのイラスト



木登りして楽しむザンビアの男の子たち